

凜

Rin

Osaka Ohtani
University

STUDENT INFORMATION MAGAZINE

vol.05
2017.05

Feature 特集

2017年度 入学式

いよいよ始まった、憧れのキャンパスライフ

Activity report 活動報告

フレッシュマンキャンプ



vol.05
INDEX 目次



03 Feature 特集
・2017年度 入学式

06 Activity report 活動報告

- 06 ・フレッシュマンキャンプ
- 08 ・富田林春の地域安全大会
・青パトドーナッツ
- 09 ・学生ボランティアフォーラム
- 10 ・2016年度 卒業式
・和光寮 入寮式
- 11 ・新入生歓迎会
- 12 ・平成29年度 学生厚生補導講演会・人権教育講演会
- 13 ・体育会総会
・文化会総会



14 Information インフォメーション

- 14 ・英語教育センター開設!
- 15 ・バイク交通安全講習会開催
・日本学生支援機構奨学金について
・保健室からのお知らせ



16 And more その他の情報

- 16 ・平成29年度春季特別展
人間国宝 秋山信子収集コレクション受贈記念
中国少数民族の衣裳



特集

Feature 2017年度 入学式

2017年 4/3日

祝、ご入学。
いよいよ始まった、憧れのキャンパスライフ。





待ちに待ったこの日、あなただけの キャンパスライフがいよいよはじまる。

平成29年度大阪大谷大学入学式が4月3日(月)午前の部と午後
の部に分けて挙行された。

少し肌寒さが残る中、前日までの天候が嘘のように晴れ渡り、第
1体育館で開催された入学式。新入生737名(大学院・専攻科含
む)がこれから始まる大学生活に数多くの夢を抱いて滝谷不動
駅から続く通学路を一步ずつ歩み進めた。新入生は在学生たち
が見つけた歓迎の道を通り、入学式が行われる第1体育館に向
かって緊張した面持ちながら、友だちや家族と談笑しながら進ん
でいった。いざ体育館に一步足を踏み入ると新入生の気持ちを
和らげる優雅な弦楽器の音色が会場全体に漂って、心落ち着
いた雰囲気醸し出していた。

広川学生部長の司会で始まった入学式。厳かに肅々と進めら
れ、尾山学長から「これから始まる大学生活は人生の中で自分
の時間をもっとも使うことができる時期であり、如何に過ごすの
かが皆さんの将来を大きく左右する」とお話しをされ、新入生の
心に大きく刻まれていた。続いて理事長からお祝いの詞があり、
次第通り進み、入学式は閉会した。

その後上回生からの歓迎の言葉があり、新入生を楽しませた。



多くの人と出会うこと、経験することの楽しさを知った。 皆さんも充実した大学生活を!

TeamY.A.O. 十川 紗依

私たち新2回生・新3回生の6人は「上回生代表 新入生歓迎の言葉」の贈り手として入学式に参画しました。4委員会から集まったメンバーの中には、初めて顔を合わせる人、初めて話す人もいて、活動し始めた頃は、気を遣ったりして、あまりまとまりがありませんでした。しかし、話し合いや練習を重ねることに、「どうしたら新入生の緊張を和らげ、新しい大学生活への不安を解消して、楽しんでもらえるか」ということを第一に考えるようになり、みんなで意見を出し合い、笑いを入れたり、歌を歌ったりして、和やかなムードで進行できました。入学式当日は、大勢の人や会場の雰囲気緊張しましたが、堂々と新入生の皆さんに歓迎の言葉を贈ることができ、安堵しています。

「歓迎の言葉」の活動を終えて、午前部の担当した薬学部薬学科2回生の金谷祐里さんは「舞台上に立った時、ものすごく緊張しましたが、新入生の皆さんの表情も新しい大学生活の始まりに緊張している様子だったので、頑張らない!と思いました。委員会に入っているため、人前に立つ機会が多いですが、こうした式典の時に前に出る機会はなかなかないのでとてもいい経験ができました。」

同じく午前部の担当した、人間社会学部スポーツ健康学科2回生の松梨真子さんは「去年は、歓迎の言葉を聞く側で緊張していましたが、今年は話す側でも緊張しました。たくさん練習して、いろいろな方の支えがあったことであり、このような貴重な体験をさせていただき栄光でした!」

同じく文学部歴史文化学科3回生の梶尾晃広さんも「あんなに多くの人の前に立つことがほとんどなかったので、緊張しましたが、とてもいい経験になりました。」

午後部の担当した、文学部歴史文化学科3回生の藤田汐理さんは「みんなそれぞれ、委員会だけではなく、部活やバイトもあり、原稿を作るまでに時間がかかったし、練習も満足にできなくて心配でした。当日も最初は緊張して足が震えていたけど、気づいたらすごく楽しくて震えも止まっていた。このメンバーでできてよかったです。」

また、午後部の担当した、教育学部教育学科学校教育専攻2回生の三好和希さんは「初めて入学式で前に立たせていただいて、すごく緊張しましたが、終わってみれば、やって良かったという達成感が大きいです。ちょこちょこ笑い声も聞こえたので嬉しかったです。」

私は昨年、新入生として入学式に出て、歓迎の言葉を見たとき、「これだけの人数の前で堂々と話せるのはすごい!やってみたい!」と思いました。そんな私に学生課の方が声をかけてくださったとき、私に務まるか心配でしたが、せっかくのチャンスだったので挑戦してみました。一番苦労したことは、3人で合わせることでした。ただ単に話すだけでなく、自然な会話の中で大学生活の紹介をしていくので、アイコンタクトや間が難しく、何回も3人で練習して、教員や職員の方にもアドバイスをいただきながら「歓迎の言葉」を作り上げていきました。また、私は1人でのパフォーマンスでも出演させていただきました。両方するのは忙しかったですが、パフォーマンスでは、緊張している新入生の笑顔を近くで見ることができ、歓迎の言葉では、こちらの問いかけにたくさんの方が反応してくださり、一体となった気がして、他の人の2倍の達成感や喜びを味わうことができました。この活動を通して、私は新たな出会いをたくさんし、人と関わることの楽しさを知りました。これからも積極的に活動に参加し、経験して、成長していきたいと思いました。新入生の皆さんにも、長いようで短い4年間の大学生活を充実したものにしてほしいと思います。そのために勇気を出して、自分からいろいろなことに挑戦してってください。

Activity report 活動報告

みんなの距離が一気に縮まる2日間。新入生恒例

フレッシュマンキャンプ 2017年 4/6(木) ~ 7(金)

平成29年度新入生対象のフレッシュマンキャンプが4月6日(木)~4月7日(金)にかけて1泊2日の日程で4学部6学科で行われた。フレッシュマンキャンプは新しい大学生活を迎えるにあたり、1日も早く大学生活に順応できるように、また、大学の授業の進め方を理解するとともに、上回生や教員との交流を図る目的で開催されている。各学部学科に分かれて文学部日本語日本文学科は滋賀県大津市のびわ湖大津プリンスホテル、歴史文化学科は滋賀県長浜市の長浜ロイヤルホテル、教育学部は兵庫県南あわじ市の南淡路ロイヤルホテル、人間社会学部人間社会学科とスポーツ健康学科は大阪市此花区の府民共済SUPERアリーナで宿泊はロッジ舞洲、薬学部は神戸市六甲アイランドの神戸ベイシェラトンホテル&タワーズで開催された。

文学部 日本語日本文学科 場所:びわ湖大津プリンスホテル



文学部 歴史文学科 場所:長浜ロイヤルホテル



教育学部 教育学科 場所:南淡路ロイヤルホテル



人間社会学部 人間社会学科・スポーツ健康学科

場所:府民共済SUPERアリーナ



薬学部 薬学科 場所:神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ



地域の安全・安心のために貢献

富田林春の地域安全大会 2017年4/22日

平成29年4月22日(土)、富田林警察署主催「富田林春の地域安全大会」が富田林市向陽台のショッピングモール<エコーロロゼ>(富田林市向陽台)で実施され、本学からバントワリング部、劇団ポリスが参加しました。バントワリング部は、華やかな音楽とダンスでオープニングを飾り、劇団ポリスは、防犯をテーマにした創作劇を披露しました。この日の内容は文学部(日本語日本文学科)2回生の虎谷魁さんが脚本を担当した、「子どもが悪い人に誘拐される」内容の劇を上演。会場の人々の前で、「痴漢に遭ったら大声を出して」などと呼びかけ、防犯意識を持つことの大切さについて劇を通して伝えました。これからは劇を通して、富田林市から犯罪が少しでも減るように、積極的に活動していき、劇団ポリスがもっともっと広がってほしいようにしたいと思います。安全・安心のまちづくりには、行政や警察だけでなく、皆さん一人一人の心構えと力が必要です。大阪大谷大学の皆さん。小さなところから構いませんので地域の安全・安心のために協力しましょう!



地域見守り隊

青パトドーナッツ

「青パトドーナッツ」って何だろう?と思われる方が多いでしょう。「青パトドーナッツ」とは地域の見守り隊のことです。ドーナッツは私達学生と地域の方々との輪を組んで繋がり合っていくことを意味しています。活動としては、大学近辺の小学校の生徒が安全に生活できる環境を作るために、見守り活動や他大学の学生が集まって研修する他に、市や地域のイベントに参加し、お手伝いさせていただいています。活動を行う中で学業やプライベートを優先させているため、自分達が活動できる時間を決めて自己管理を大切にしています。警察や市役所、大学内の「劇団ポリス」、「Team Y.A.O.」や府内の学生と交流があるため、縦と横の繋がりが出来て、コミュニケーション能力の向上や、活動を通して行動力など社会に入る前に自分自身で学ぶ場を作り人間性を向上出来るどころだと実感しております。何かやってみようと感じている方は、体験することで見えてくるものがありますので、気軽に学生課や写真の方に話しかけてみてください。



学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会

学生ボランティアフォーラム

2017年3/3日(金)~5日(日)

学生ボランティアフォーラムに参加して

人間社会学部スポーツ健康学科2回 松梨真子

平成29年3月3日(金)から5日(日)にかけて東京の国立オリンピック記念少年総合センターで「学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」があり、大阪大谷大学からは12名で参加してきました。この研修の目的は、

- ① ボランティアを通して一人ひとりがリーダーとしての自覚を持ち、課外活動の強化及び行政ボランティア等に取り組めるよう、他大学の活動から多くの学びを得る。
- ② 自身のコーディネートする力を身に付け、団体を引っ張っていけるような組織づくりの基盤を作る事です。私がこの交流研修を通して身につけたことは、まず、『相手の立場に立って考え、行動する』。分科会では、「ボランティアの可能性と未来」というテーマでボランティアのことについて話し合いをしました。いろいろな人の意見や体験談を聞いて、自分が行っていた被災地ボランティアはただの自己満足であって、やった気になっているだけだと考えさせられた。「継続」すること、ボランティアに行くだけでなく、事前に調べ、被災地の人たちは今何が必要なのかしっかり考えてから行うことが大切だと分科会を通して学びました。これは、ボランティアすべてにおいて言えることだと感じました。

次に、『聞いた意見を自分のものにする』。シンポジウムや



グループワークで、ボランティアについて真剣に考える皆さんの意見を聞いてとても圧倒されました。話す内容は自分の思っていた遙か上を行くレベルで、ついて行くのに必死だったのに対し、自分の意見を話しながら、相手の意見を聞いてメモを取って質問している人たちが個人的に活動する人、組織を立ち上げて活動をしている人さまざまだが、これらのことから、私はボランティアに対する考え方だけでなく、人としての考え方が大きく変わりました。「出会い」と「つながり」を大切に、日々感謝して生活したい。そして、自己肯定感と自己効力感を高めるために、自分から率先して物事に取り組み、成功を積み重ねて自分に自信をつけることに力を入れていきたいと思います。今回参加した人たちがこの交流集会の良さを他の人に知ってもらい、来年も多くの人に参加してもらえるように呼びかけていきたい。



それぞれの未来への旅立ち

2016年度 卒業式 2017年3/18日

平成28年度卒業式(学部生568名・専攻科1名)が平成29年3月18日(土)に挙行された。午前10時から文学部・教育学部・教育専攻科、午後2時から人間社会学部・薬学部の卒業式が行われ、晴れの門出を迎えた。尾山学長から学部生代表に学位記が手渡され、「時代の変化や要請に対応し、これからの長い人生を胸を張って歩いていかれることを期待しております。」と激励した。あいにくの曇り空であったが、雨にも降られず次のステージに向かって飛び立っていった。



ドキドキの寮生活が始まります。

和光寮 入寮式 2017年4/3日

平成29年4月3日に和光寮の入寮式と新入生歓迎会が行われました。入寮式では、新入生たちがこれから始まる新生活の不安もあってか、在寮生の先輩に見守られながら、緊張した様子がうかがえました。式の後の記念撮影では、全員で記念撮影したり、ルームメイトどうして写真を撮ったりしました。また、新入生歓迎会では、夕食をみんなで食べ、学年ごとに自己紹介もするという内容でした。新入生もはじめは緊張した様子でしたが、同級生どうしはもちろん、先輩たちとも打ち解けて、とても賑やかなものになりました。現在の寮生は31人おり、学年、学科が一人ひとり違うということはもちろん、出身地も違うことなど関係なく、みんなで仲良く生活しています。普段の生活では、寮の規則を守りつつ、同じ寮生と話したり、バイトしたり、買い物に行ったりと、各自が自由にすごしています。さらに、寮のイベントとして、秋には寮祭と寮生・下宿生の集いがあります。寮祭では毎年、みんなで鍋を食べ、魅力的な景品つきのビンゴ大会があり、とても盛り上がっています。寮生・下宿生の集いでは、去年は京都に行き、一人暮らしならではのお悩み相談、京都自由散策、清水寺観光をしました。今まで話したこともない友達ともたくさん話すことのできるいい機会が得られます。今年は寮生活が最後になってしましますが、残り一年たくさんの思い出をつくれるよう、寮生31人で楽しく過ごしていきたいと思っています。



学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会

新入生歓迎会 2017年4/5日

4月5日(水)、第一体育館にて、新入生に大阪大谷大学の魅力を伝えるべく「新入生歓迎会」を行いました。みんなこれからの大学生活に心を躍らせながら歓迎会に足を運んでいる様子。運動部・文化部・サークルなど日ごろの活動や魅力、練習の成果を伝えるべく、精一杯発表や様々な演技を行っていました。その姿を見る新入生の目はキラキラと輝いていました。

また、本年度は新しい取り組みとして、大学構内に各部活団体が部活の説明を行うためのブースを設置いたしました。新入生の方々は、緊張しながらも勇気を出して、各々が入りたい課外活動の説明を聞きにブースに足を運んでいました。

今回の歓迎会も、新入生の皆さんがより良い大学生活のスタートを切れるよう支援をすべく、学生主体で様々な企画を用意しました。楽しんでいただけましたでしょうか。

新入生の方々は大学生活を始めてまだ1ヵ月半。まだまだ期待と不安を抱いているでしょう。大学はこれまでの環境とは大きく変化し、自由な時間がこれまでより確実に増えます。より充実した大学生活を送るには、自らで考え、主体的に行動する必要があります。これからの大学生活を充実させるためにも、様々な事に果敢に挑戦していきましょう。



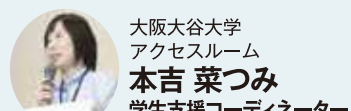
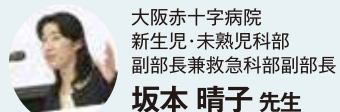
平成29年度 学生厚生補導講演会・ 人権教育講演会 2017年5/17^水

講演テーマ
**障がい学生修学支援の仕組みづくり
～アクセスルーム開室記念シンポジウム～**

コーディネーター



パネリスト



5月17日(水)14時50分(4限目)から、6-201(L)教室で、多数の教職員・学生が参加し、満員の会場で、学生厚生補導講演会・人権教育講演会が開催された。今回は、「障がい学生支援の仕組みづくり」と題し、また、昨年10月に設置された「アクセスルーム」の開室記念として、シンポジウム形式で障がい学生をどのようにサポートして行けば良いか、共生社会の必要性について活発な議論が交わされた。

初めに尾山学長から障がい学生の支援の必要性を幅広い視点から掘り下げていき、より深く理解し適切に行っていくことは建学の精神につながるとの挨拶があった。続いて、本シンポジウムの主旨説明を本学の小田浩伸教授から行ない、平成28年4月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行までの経緯とその施行に伴い、「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」について説明された。

続いてパネルディスカッションに入り、朝日放送報道局報道デスクで、キャスト等の番組でニュース解説をされている木原善隆氏にコーディネーターとして進行をしていただき、森ノ宮病院の柴田徹先生、大阪赤十字病院の坂本晴子先生、本学教育学部特別支援教育専攻の小田浩伸教授、アクセスルーム学生支援コーディネーターの本吉菜つみ氏にパネリストとして、「障がい学生支援の必要性」、「障がい学生自身による自分の特性の理解」、「障がい学生との共学の意義」、「大学としての責務」の4つの観点からディスカッションを行い、講演の最後に司会進行の広川学生部長から障がい学生支援について少しでも教職員、学生たちの役に立てればと話され、盛況のうちに終了した。



平成29年度 体育会総会 2017年5/18^四

講演テーマ
**選手育成について
～スポーツトレーナーの立場から～**
講師:松原 裕一 先生

体育会総会は、体育係クラブに所属する学生全員が参加し、体育会本部と各団体との関係を再認識すると共に、本部役員の役割を理解すること、そして他団体の活動内容にも目を向け、お互いに理解しあうことを目的としています。本年度の総会は、本学の人間社会学部スポーツ健康学科の松原裕一先生にスポーツトレーナーの立場から選手育成についてお話しをいただきました。学生にとっても、後輩を育成させる機会はたくさんあります。今回の体育会総会で自主的に仲間の指導ができる人材が増えればと思っています。



平成29年度 文化会総会 2017年5/17^水

本年度も平成29年5月17日(水)に文化会総会を開催いたしました。今年の文化会総会は例年とは異なり、本学の文化系団体に所属している全ての学生に集まっていただき、文化会役員の紹介や今年度から新たに施行している新体制の説明等を行いました。本年度から会長、総務局、事務局、広報局、財務局といった5つの局での構成となり、新体制になり、どの局が何をメインで動くのか明白になりました。人数が足りず、文化系団体に所属するいくつかの団体にお手伝い要員を頼むこととなり、ご迷惑をおかけすることとなってしまいましたが、ご協力をもって運営ができました。今回の文化会総会で少しでも興味を持ってくださった方はぜひ一度ミーティングへお越しください。



大阪大谷大学 英語教育センター 開設!

志学館
5F



セミナー室
机・椅子のレイアウトは自由自在。自習にも活用できます。



English Café
楽しく、実践的に英語を学ぶことができます。



教材室
CD・テキストなどの語学教材を貸し出しています。

●英語教育の拠点として

英語教育センター(ACE/Activity Center for English)は、本学の英語教育運営の拠点として、学生が英語の基礎力を向上させ、大学生としてふさわしい英語力を身につけるための学習支援を行います。

●充実した環境での学び

志学館5階には、空き時間は自習にも利用できるセミナー室や、語学教材の閲覧・貸出ができる教材室を備えています。飲食可能なEnglish Caféでは、センター教員やネイティブスピーカーの先生との交流を楽しむことができます。

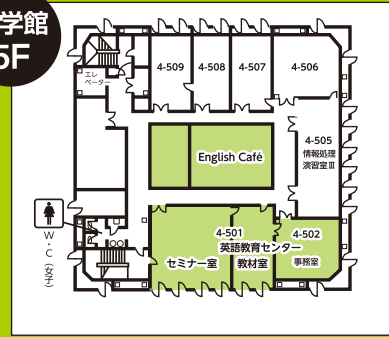
●資格・検定試験のサポート

英語教育センターでは、スマホでも利用可能な「eラーニングシステム(TOEIC受験対策用)」を全学的に導入しました。その他、英語資格取得のための問題集やCDなどの教材も豊富に用意しています。学生は誰でも利用できますので、ぜひチャレンジしてみてください! また、センター事務室では、英語関連の資格・検定試験(TOEIC学内試験や英検など)の申し込みを受け付け、学生の学びをサポートしています。



志学館
5F

詳しくはこの
チラシをチェック!!



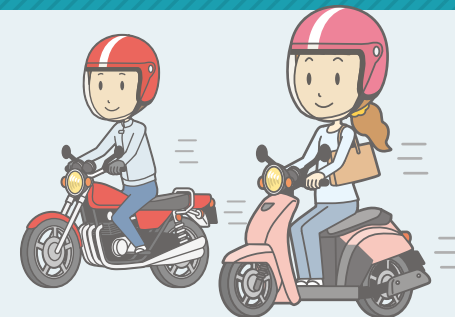
バイク通学者
の皆さんへ

バイク交通安全講習会



[日時] 平成29年6月10日(土) 10:30~[1-201(F)教室]

バイク通学の許可が下りた新入生と、昨年の交通安全講習会(平成28年6月11日[土]開催)以降にバイク通学の申請をし、一度も交通安全講習会に出席したことのない2回生以上のバイク通学許可学生は、今年度の講習会を6月10日(土)10:30~1-201(F)教室で行いますので必ず参加してください。無断欠席者ならびに遅刻者(連絡等がなく一定時間以上)、学生課が指示する課題を提出しなかった学生は許可を取り消します。



日本学生支援機構奨学金について

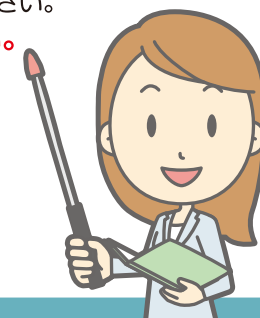
平成29年度から日本学生支援機構の奨学金の貸与を新たに受ける皆さんは、貸与が開始された後に「返還誓約書」を作成し、関連書類を期限までに提出しなければなりません。

「返還誓約書」作成に関する説明会を開催いたしますので、必ず参加してください。

日程の詳細については奨学金の掲示板を見て確認してください。

「返還誓約書」作成に関する説明会の主な開催時期

- 5月16日に第1回目の振込みがあった人…6月14~16日
- 6月9日に第1回目の振込みがあった人…6月下旬
- 7月11日に第1回目の振込みがあった人…7月下旬



保健室からのお知らせ

今年度の定期健康診断は終了し、結果は各自に送付しますので必ず目を通してください。抗体検査の結果も記載されているので結果通知書は1年間保管しておいてください。特に実習を予定している教育学部・薬学部の学生は、再発行に手数料がかかりますので注意してください。

6月には心臓検診があります。体育会系クラブの新規入部者全員と健康診断時に内科医から指示のあったものが受検対象です。男女で受検日が異なりますので注意してください。

保健室では、熱中症や感染症等健康に関する注意事項も随時掲示していますので参考になしてください。



平成29年度 春季特別展

人間国宝 秋山信子収集コレクション受贈記念

中国少数民族の衣裳



「陽光」秋山信子 作

入館
無料

展示期間 平成29年4月3日^月～6月23日^金
※期間中の土曜日は午後も開館します。

休館日 日曜日および祝日

開館時間 午前10時～午後4時

大阪大谷大学 博物館

お問合せは、学生課まで

発行日:2017年5月31日

 **大阪大谷大学**
Osaka Ohtani University 学生課

〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1 TEL.0721-24-0381(代)
TEL.0721-24-0384 (学生課直通) FAX.0721-24-0511